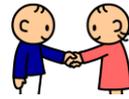




# 支援部だより



NO. 2

令和3年5月21日

岡山県でも新型コロナウイルスの感染急拡大を受けた緊急事態宣言の期間が始まり、見通しが立ちにくい毎日に不安を感じている方が多いのではないかと思います。一人一人が感染予防対策を徹底して行うことが平穏な日々を取り戻すために一番の近道だと信じて、できることを継続的にしていきましょう。

さて、先日まで、学校では、個人懇談が行われていました。その中で、「相談支援専門員の有無」や「福祉サービスの利用状況」について、確認されたと思います。お子さんの状態や家庭の状況によっては、まだ考えていないという方もおられると思いますが、在学中の必要な時期から利用を考えてみることをお勧めします。

## 「相談支援専門員」とは

相談支援専門員は、乳幼児期から高齢期の障害者を対象として「相談支援」を行います。

「相談支援」は、岡山市の障害者のしおりでは、17歳以下は「障害児相談支援」、18歳以上は「計画相談支援」と表記されています。具体的には、特別支援学校高等部3年生が卒業(3月末)まで、放課後等デイサービスを利用し、4月から障害福祉サービスの日中活動系(生活介護等)を利用する場合は、3月末まで「障害児相談支援」の受給者となり、4月から「計画相談支援」の受給者となります。

### <相談支援専門員が行うこと>

#### ①初回相談

本人や家庭が困っていることや希望を聞き取ります。本人や家族の生活に対する意向や悩み、現在の状況をふまえて、本人にとって適切なサービスの組み合わせを計画する②の基になりま

#### ②サービス等利用計画案作成

利用者の意向を尊重した、必要な支援計画を作成します。このサービス等利用計画をベースに各事業所は個別支援計画書を作成します。

#### ③サービス担当者会議開催

相談支援専門員が利用者として作成したサービス等利用計画をもとに、希望するサービスの紹介や見学、体験といった機会を設定します。

#### ④モニタリング

サービス等利用計画に従ってサービスが行われているかを確認します。

※ サービス等利用計画・障害児支援利用計画は、相談支援事業者に代わり、障害者本人、家族、支援者が計画を作成することもできます。(セルフプラン)

◆ 相談支援専門員がついていると、必要なときに随時、障害者本人や家族の生活についての悩みや心配事を相談することができます。学校を卒業すると、相談場所に困る場合がありますが、相談支援専門員がついていると、その時のニーズに合わせて事業所につなげてくれるので、安心です。在学中は、必要に応じて、利用している放課後等デイサービスなどの事業所や学校関係者が集まって開くケア会議(事業所と学校で連携して、本人の支援を検討・確認をする会)の調整もしていただけます。

◆ 相談支援専門員が行う相談及び計画作成・モニタリングは無料です。

◆ 相談支援専門員をつける際には、その時点で、どのような障害福祉サービス(短期入所等)、障害児通所支援(放課後等デイサービス)を利用したいかというニーズを明確にしておくことがよいです。本人の安定した豊かな生活のために、家庭内にとどまらず、福祉サービスをどのように組み合わせた計画にしたいかを伝えると、ニーズに合った計画を考えてもらえます。(逆に言うと、「すぐに、福祉サービスを利用したい」等、ニーズがはっきりしていないと、「今すぐ、相談支援専門員が必要というわけではない」と捉えられ、すぐにはつかないこともあります。)

◆ 相談支援専門員をつけたい、障害福祉サービスや障害児通所支援を利用したいという場合には、地域活動支援センター(I型)、あるいは各地区の地域子ども相談センターにご相談ください。

詳しく知りたい方は、支援部教員まで、お問い合わせください。

予告

親子のいいところ探し～子育て応援プログラム～に参加しませんか？

### ～子育て応援プログラム～

令和3年8月3日(火)と8月26日(木)(全2回シリーズ)

両日とも10:00～12:00 (本校 ボランティア室にて)  
詳細については、6月になりましたら、ご案内させていただきます。  
ご参加お待ちしております。



—昨年の「子育て応援プログラム」の様子



この研修は、子どもの行動に注目し、よりよい親子のコミュニケーションを育てていく方法を学ぶ「子育て応援プログラム」です。今年度もおかやま発達障害者支援センターの水木祥子先生にお越しいただき、「子育て応援プログラム」について説明していただいたり、保護者の皆さんが楽しく子育てをすることができるように、自分や子どものいいところを探してほめ上手になろうというグループワークをしたりします。一昨年度にご参加くださった保護者のアンケートでは、「違った角度からの切り口で物事を考えるきっかけになった」「先生や保護者同士でアイデアを出し合うことで、子どもや自分の良さに気づき、嬉しかった」などというご感想をいただきました。

今年度も、支援部主催の研修として、保護者の方同士をつなぐ会にもなれば・・・と考えています。夏季休業中の前半、8月3日と、後半の8月26日の全2回シリーズとし、感染症対策を徹底した上で、ペアやグループを作って、静かに（コロナ禍ですので、大きな声は出さずに）楽しく会話しながら、グループワークをしていきます。詳しい内容は、また6月に案内チラシでお知らせいたします。

人数制限はありますが、是非、参加をご検討ください。